



## 平成 23 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 11 月 10 日

上場会社名 大多喜ガス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9541 URL <http://www.otakigas.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 渡部 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部マネージャー (氏名) 八代 伸彦 (TEL) 0475 (24) 0010  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 12 月期第 3 四半期	41,551	16.8	1,870	△1.0	1,875	△1.8	1,163	4.6
22 年 12 月期第 3 四半期	35,580	14.9	1,888	36.5	1,909	36.4	1,113	27.8

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 12 月期第 3 四半期	73.58	73.31
22 年 12 月期第 3 四半期	70.34	70.20

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 12 月期第 3 四半期	28,817	18,982	65.5	1,193.02
22 年 12 月期	27,406	17,951	65.2	1,128.85

(参考) 自己資本 23 年 12 月期第 3 四半期 18,872 百万円 22 年 12 月期 17,858 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 12 月期	-	4.00	-	6.00	10.00
23 年 12 月期	-	4.00	-	-	-
23 年 12 月期(予想)	-	-	-	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 23 年 12 月期の連結業績予想 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	52,870	10.9	1,650	△5.7	1,650	△7.0	1,040	0.5	65.74	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	17,424,000株	22年12月期	17,424,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

23年12月期3Q	1,604,650株	22年12月期	1,604,198株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年12月期3Q	15,819,702株	22年12月期3Q	15,822,618株
-----------	-------------	-----------	-------------

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書 .....	8
【第3四半期連結累計期間】 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、ガス販売量の増加などにより、前年同期に比べて16.8%増加の415億51百万円となりました。また、営業費用につきましても、原料ガスの購入量の増加などにより、17.8%増加の396億81百万円となりました。

営業利益につきましては、主に家庭用需要の減少などが影響し、1.0%減少の18億70百万円、経常利益は1.8%減少の18億75百万円となりましたが、四半期純利益につきましては、企業年金制度の変更に伴う特別損失などを計上していた前年同期に比べて4.6%増加の11億63百万円となりました。

セグメント別の業績の概要は以下の通りであります。

#### 【ガ ス】

ガス販売量につきましては、東日本大震災後の節約志向などにより、家庭用や業務用などで需要が減少しましたが、震災後の電力供給不足を補うために発電用需要向けの販売量が増加したことなどにより、前年同期に比べて11.3%増加の719,931千m<sup>3</sup> (39MJ/m<sup>3</sup>) となりました。

こうしたガス販売量の増加に加え、輸入エネルギー価格上昇によって工業用需要などのガス販売価格が上昇したこともあり、受注工事、器具販売などを含めた売上高につきましては、398億32百万円となりました。

営業費用につきましては、原料ガスの購入量の増加や購入価格の上昇などにより、380億48百万円となりました。この結果、営業利益につきましては17億84百万円となりました。

#### 【その他】

液化石油ガスの販売や情報処理サービスなどを行う本セグメントの売上高につきましては、22億90百万円、営業費用につきましては22億17百万円となりました。この結果、営業利益につきましては73百万円となりました。

※ 上記セグメント別の概要につきましては、セグメント間の内部取引を含んでいます。

※ 当社グループの売上の大半は、季節的変動が著しい「ガス」セグメントによるものであり、その性質上、冬季が需要期であるため、業績に季節的変動があります。

※ 第1四半期より、セグメントの内容を変更しておりますので、ガス販売量を除いて前年同期との比較は行っておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

「受取手形及び売掛金」の増加等により、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億10百万円増加し、288億17百万円となりました。

「買掛金」の増加等により、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比べ3億79百万円増加し98億34百万円となりました。

四半期純利益等による「利益剰余金」の増加等により、当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末と比べ10億31百万円増加し189億82百万円となりました。なお、自己資本比率は65.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、「平成23年12月期第2四半期決算短信」(平成23年8月11日)において公表いたしました通期業績予想から修正はございません。

今後、気温や事業環境等の状況により連結業績に大きな影響を及ぼすと見込まれる場合には、その影響額を算定のうえ改めて発表いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ① 一般債権(経営状態に重大な問題が生じていない債務者に対する債権)の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

##### ② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法を採用しております。

##### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を採用しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準等に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

## 2. 表示方法の変更

### 四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき、「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第5号 平成21年3月24日)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

前第3四半期連結累計期間まで独立掲記しておりました「貸付金の回収による収入」(当第3四半期連結累計期間7,027千円)は、重要性が低下したため、当第3四半期連結累計期間においては投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
有形固定資産		
供給設備	9,297,947	9,816,320
業務設備	2,446,496	2,491,768
その他の設備	396,320	400,358
建設仮勘定	177,719	162,482
有形固定資産合計	12,318,484	12,870,929
無形固定資産		
その他	728,284	382,565
無形固定資産合計	728,284	382,565
投資その他の資産		
投資有価証券	794,539	979,376
その他	1,295,637	1,161,701
貸倒引当金	△21,499	△21,432
投資その他の資産合計	2,068,677	2,119,644
<b>固定資産合計</b>	<b>15,115,446</b>	<b>15,373,139</b>
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,074,082	3,740,606
受取手形及び売掛金	5,261,774	4,530,296
有価証券	3,825,904	3,324,793
その他	550,779	446,638
貸倒引当金	△10,627	△9,110
流動資産合計	13,701,912	12,033,224
<b>資産合計</b>	<b>28,817,358</b>	<b>27,406,364</b>
<b>負債の部</b>		
<b>固定負債</b>		
長期借入金	685,600	878,560
退職給付引当金	1,784,680	1,678,788
ガスホルダー修繕引当金	164,792	138,569
その他	93,762	83,928
固定負債合計	2,728,835	2,779,846
<b>流動負債</b>		
1年以内に期限到来の固定負債	265,880	274,880
買掛金	4,629,647	3,799,072
短期借入金	391,000	391,000
未払法人税等	390,064	509,492
その他	1,429,551	1,700,841
流動負債合計	7,106,142	6,675,286
<b>負債合計</b>	<b>9,834,978</b>	<b>9,455,133</b>



(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,244,000	2,244,000
資本剰余金	2,013,844	2,013,844
利益剰余金	15,603,327	14,597,527
自己株式	△995,009	△994,827
株主資本合計	18,866,162	17,860,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,641	△2,372
評価・換算差額等合計	6,641	△2,372
新株予約権	31,626	21,976
少数株主持分	77,950	71,083
純資産合計	18,982,380	17,951,231
負債純資産合計	28,817,358	27,406,364

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	35,580,502	41,551,315
売上原価	28,625,673	34,643,400
売上総利益	6,954,829	6,907,914
供給販売費及び一般管理費		
供給販売費	4,208,424	4,222,574
一般管理費	858,026	815,215
供給販売費及び一般管理費合計	5,066,451	5,037,789
営業利益	1,888,378	1,870,125
営業外収益		
受取利息	15,995	16,259
受取配当金	7,587	7,741
受取賃貸料	10,225	10,141
その他	20,208	25,240
営業外収益合計	54,015	59,383
営業外費用		
支払利息	25,418	24,413
寄付金	7,642	29,367
その他	205	333
営業外費用合計	33,266	54,115
経常利益	1,909,127	1,875,393
特別損失		
投資有価証券評価損	11,633	—
ゴルフ会員権評価損	500	—
貸倒引当金繰入額	1,135	—
退職給付制度改定損	106,317	—
特別損失合計	119,585	—
税金等調整前四半期純利益	1,789,541	1,875,393
法人税等	672,753	704,528
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,170,864
少数株主利益	3,748	6,866
四半期純利益	1,113,040	1,163,998

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,789,541	1,875,393
減価償却費	1,332,853	1,313,826
貸倒引当金の増減額(△は減少)	492	1,584
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,336	105,892
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,952	—
受取利息及び受取配当金	△23,582	△24,001
支払利息	25,418	24,413
投資有価証券評価損益(△は益)	11,633	—
売上債権の増減額(△は増加)	14,034	△723,714
仕入債務の増減額(△は減少)	137,899	830,574
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,577	18,855
その他	△133,134	△351,475
小計	3,105,195	3,071,349
利息及び配当金の受取額	24,313	25,370
利息の支払額	△26,027	△24,957
法人税等の支払額	△522,887	△795,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,580,594	2,276,622
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△399,149	—
有価証券の償還による収入	200,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,466,075	△911,261
工事負担金等受入による収入	93,195	50,550
無形固定資産の取得による支出	△107,468	△421,498
投資有価証券の取得による支出	△200,877	△461
貸付金の回収による収入	11,336	—
その他	672	717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,868,366	△981,954
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△204,380	△201,960
配当金の支払額	△125,539	△157,104
自己株式の取得による支出	△2,151	△182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,071	△359,246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,156	935,421
現金及び現金同等物の期首残高	4,913,466	5,874,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,293,622	6,810,231

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	ガス (千円)	受注工事 (千円)	器具販売 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,701,300	428,118	924,928	1,526,155	35,580,502	—	35,580,502
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,886	2,911	426	273,024	280,249	(280,249)	—
計	32,705,186	431,029	925,355	1,799,179	35,860,751	(280,249)	35,580,502
営業利益	2,468,673	16,921	130,595	142,139	2,758,330	(869,952)	1,888,378

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品等の名称

事業区分は「ガス事業会計規則」に準拠した売上集計基準によっております。

事業区分	主要な製品等の名称
ガス	ガス
受注工事	ガス工事
器具販売	ガス機器、都市ガス警報器リース
その他	液化石油ガス、圧縮天然ガス、情報処理サービス、OA機器の販売

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

在外連結子会社がないため、該当する事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

海外売上高が発生していないため、該当する事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ガス供給が事業の大半を占めているため、「ガス事業」のみを報告セグメントとしております。

なお、「ガス事業」は、都市ガス供給及び付随するガス配管工事、ガス機器販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	ガス (千円)				
売上高	39,832,431	2,290,927	42,123,359	△572,043	41,551,315
セグメント利益	1,784,261	73,391	1,857,653	12,472	1,870,125

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業(付随するガス配管工事、ガス機器販売含む)、圧縮天然ガス事業(付随するガス配管工事、ガス機器販売含む)、情報処理サービス事業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額12,472千円の内容はセグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。